

畜産ニュース

○飼料自給経営地打合せ

一. 日時

昭和31年12月15日10時

一. 場所

岡山県職員研修所

津山, 美作農林事務所

畜産課, 農業改良課, 酪農試験場, 勝北, 久米中部
農業改良普及所, 勝北町, 中央町担当者

一. 打合せ事項

一. 飼料自給経営地の計画について

二. 同 現況について

三. 同 指導について

今後の指導は農業改良普及所を中心として各農家の飼料作物作付については適地適作の計画を樹立し, 酪農を配した農業経営の安定向上をはかるよう努力することになった。

1月中旬に農家経営調査簿の記帳説明会を実施する。

○ジャージー種牛津山地区第2回閉講式並に研究発表会開催

昭和30年度導入農家を対象として, ジャージー種飼養管理の講習会を開催していたが, この程1ヶ年間の教育を終了したので, 去る12月14日ジャージー酪農組合連合会の主催で津山市衆楽園迎賓館で, その閉講式が盛大に挙行された。当日は津山地区のジャージー飼育農家全員が集り, 市役所からは助役, 農業委員長等が出席, 講師側は酪農試験場長以下場員各講師が出席, 午前中は指導員, 組合長等が3班に分れ, 広島県チチヤス牧場, 砂谷酪農, 淡路酪農, 長野, 山梨のジャージー地区等を視察したのでその報告があり, これについて活発な質問, 意見の交換が行われ, 午後は組合員の1ヶ年間のジャージー飼育に対する貴重な研究発

表が行われ有意義な1日を送った。当日の研究発表については後日稿を纏めて発表されるが, 初産で17石搾乳した人もあり, 飼料の自給度も年と共に高まり, 経済的に見たジャージー種の真価も次第に数字的に明らかになり, 組合員も大きな希望を持ってジャージー飼育に当たっている様子が判り大いに参考になった次第である。尻上りに上昇するジャージー種の成績と, 導入希望地の増加と共に津山地区の人々も明るい気持ちで居るようであった。

○腐そ病焼却処分及び一斉検査

本年10月に新見市草間町地区の発生に引き続き, 11月には又阿哲郡神郷町地区に腐そ病が発生し, 蜂郡7群及び汚染の疑いのある物品を焼却処分した。現在は蜂の活動時期でないため感染の機会は少いが引き続き関係者の一斉検査及び自衛検査を実施する予定である。今回の発生者を見るとすべて非組合員であって, 蜂群及び器具等の購入を腐そ病の汚染地帯より購入している等のこともありますので, 養蜂家にとって腐そ病の致命的な影響を考慮して組合にも加入し, 又蜂群, 器材具等の購入にも慎重を期してもらいたい。